平成３０年度 ESD 海外語学研修 報告書

7 月 30 日（月）

13：53 に二本松駅から成田空港へ向けて生徒 16 名、教員 2 名がたくさんの保護者や教員に見送られ、無事に出発。滑走路の不具合があって、2 時間半離陸が遅れるも、日本航空７７１便でシドニーへ。

7 月 31 日（火）



約9時間45分のフライトで8時半に快晴のシドニーへ降り立ちました。バスでミセス・マッコリーズポイントへ向かい、オペラハウスとハーバーブリッジをバックに写真撮影。シドニー郊外のコアラパーク自然動物園を見学しました。コアラを抱っこすることは州法で禁止されていますが、触れることは許されていて、生徒達はコアラに触れて感動していました。また、カンガルーにも触れることができました。15:45 頃、Hunter Valley Grammar School でホストファミリーと対面。最初は心細い様子でしたが、ホストの方々にご挨拶をし、大きい期待と少しの不安をもってそれぞれ車に乗り込んでいきました。

8 月 1 日（水）

8：15 頃ホストファミリーの送迎で学校へ。広い敷地に校舎が点在する学校なので、生徒があちらこちらを案内してくれました。天然芝の立派なラグビー場もありました。午前中は 4 コマで、途中 10 時半から 20 分間、モーニングティという休憩時間があり、戸外で思い思いにおやつを食べたり，おしゃべりをしたり、中にはボール遊びをする男子生徒もいました。ランチの後、午後は 2 コマ授業があり、15：00 頃には終了、放課となります。放課後は部活等はなく、基本的に下校します。



本校生はこの日から英語レッスンを開始しました。日本の地図や 50 音表の貼ってある、日本語授業で使用する教室で、デボラ先生が自己紹介やゲームなどでみんなの緊張を解いてくれました。生徒達は英語を聞き取ろうと努力し、緊張しつつもコミュニケーションを図ろうとしていました。またモーニングティやランチ時には、ハンターバレー校生のバディと一緒に過ごしました。午後の 2 コマはバディと一緒に各々、数学、歴史、技術、日本語などの授業に参加し、現地校の雰囲気を味わいました。15：00 過ぎにはホストファミリーが車で迎えに来てくれて、授業初日は終わりました。



8 月 2 日（木）、3 日（金）



授業 2 日目は、午前中にデボラ先生とオーストラリアの地理を英語で勉強しました。タスマニア島もオーストラリアの一部だったことは知らない生徒も多かったようです。午前の最後の授業では、日本の中 1 に当たる 7 年生と合同で授業をしました。あちらはまだ、日本語を学び初めて 6 か月とのことでしたが、みんな真剣な表情で、自分の日本語は通じるかしらと、緊張しながら話しかけてくれました。安達高生も英語で話しかけ、コミュニケーションを図りました。前日より積極的になったようです。サプライズでこの日は、学校より半袖スクールジャージをプレゼントされみんな感激しました。3 日目は午後、ホールで仏・独・日・中国語を選択している生徒約 120 名の前で、震災復興、福島の観光・安達高の紹介などをパワーポイントでプレゼンしました。特に震災関連については、質問がいくつも出て、熱心に聞いてくれていることが伝わりました。日本文化紹介では横笛の演奏披露後、折り紙、剣玉、浴衣着付け、かるたとり、だるま落としなどを体験してもらいました。



英語とジェスチャーを用いて、一生懸命説明していました。そして現地生徒も気持ちを集中させて剣玉をしたり、浴衣を着せてもらってはしゃいでいたり、異文化交流を楽しみました。

8月4日（土）5日（日）

ホストファミリーと共に、バラエティーに富んだ内容の時間を過ごしました。マシーンで筋トレ、ショッピング、ビーチ散策、動物園で過ごしたり、トランポリンで運動 etc…。

8月6日（月）



朝、ホストファミリーとお別れ。ハンターバレー校の先生方に見送られ一路シドニーへ。11時半頃にシドニー市内に入り、Coastal Environmental Centre にて研修。ダーリングハーバーの海辺のレストランでパスタとアイスクリームの昼食を楽しみました。ホテルチェックイン後、バスで移動をして、夜景を見ながらオーストラリアらしいビッグサイズのステーキの夕食を取りました。昨日までののんびりしたハンターバレーとは違う、多様性に満ちた500万都市シドニーの魅力を感じました。

8月7日（火）



朝食後、シドニー大学にキャンパスツアーへ。大学生が説明をしてくれて、大学の museum 所蔵のミイラや、発掘品を見学しました。オーストラリアの赤茶色の石造りの大学はまるで、ハリーポッターの世界に入り込んだようでした。卒業式用の黒いガウンや角帽のならぶ大学売店も覗いて、ちょっと大学生気分を味わいました。この日は私達のような外部の見学者も多かったようです。午後はセントメアリー大聖堂の大きさに目を奪われ、その後、オーストラリア博物館で、アボリジニーのコーナーや恐竜・鉱物・野生生物の展示を見学しました。国土も広く、太古の地層からなる大陸のため、豊かな先住民族文化があり、いろいろな生物がいたことがうかがえる展示に圧倒されました。

8月8日（水）



今年度もシドニー市内の自主研修を行いました。グループに分かれ、終日シドニーを徒歩で、市内観光しました。ハーバーブリッジは片側3車線の車専用道路というイメージがありますが、実は人が歩くこともでき、ハーバーブリッジを目指した人もいました。昼食はめいめいがこの研修で鍛えた英語力で好きなものをフードコートで注文したもようです。夜は、シドニー最後の夜にふさわしい、360度シドニーの夜景を楽しめるシドニータワーレストランで、名残を惜しんだり、この研修を振り返ったりしました。

8月9日（木）

朝4：20にモーニングコールで起こされ、眠い目をこすりつつホテルを後にしました。飛行機は台風14号が関東地方直撃ということで、ずいぶん日本では心配されたようですが、無事成田空港に着陸。お盆の帰省ラッシュにはまだ早かったようで、あまり混雑もない成田・東京を移動し、予定通り21:37郡山駅に到着しました。その後東北本線に乗り換え、帰宅。11日間、8月6日の移動時の雨を除けば、活動中は本当にお天気に恵まれました。

【次年度へ向けて】



今年度も語学研修を現地の学校で行いました。これは異文化交流において大変有意義な内容となりました。福島県の現状プレゼン、日本文化紹介、現地生徒と一緒の授業など実際に交流する場面が多く、良い機会でした。またホームステイも受け入れ先がよくしてくれる家庭ばかりで、生徒の顔は毎日笑顔でした。全体的に昨年度の反省を踏まえたカリキュラムを組んだので、生徒達にとっては実り多い海外研修になったと思います。次年度も現地校との交流を踏まえた研修カリキュラムが望ましいと考えます。